

令和3年度 第1回下野市生涯学習推進協議会議 議事録

- ・ 審議会等名 令和3年度 第1回下野市生涯学習推進協議会議
- ・ 日 時 令和3年7月30日（金）午後1時30分～4時15分まで
- ・ 会 場 下野市役所3階 303会議室
- ・ 出 席 者 鈴木健一会長、菅井貞雄副会長、設楽孝男委員、谷萩昌道委員、下山千恵子委員、
榆木久美子委員、大垣玉枝委員、小島和吉委員、松本文男委員
【欠席委員】野口俊明委員
(事務局) 浅香生涯学習文化課長、戸沢主幹、漆原主査、本橋主事
- ・ 公開・非公開の別 (公開 一部公開 非公開)
- ・ 傍 聴 人 なし
- ・ 報 道 機 関 なし
- ・ 議事録(概要) 作成年月日 令和3年8月4日（水）

【協議事項等】

1. 開会

2. 会長あいさつ（鈴木会長）

昨年度、この協議会より計画策定に関する基本的な考え方を提言した下野市生涯学習推進計画（第三次）が、今年度よりスタートした。少しでも良い方向に進めていけるよう取り組んでいきたい。新型コロナウイルス感染症はあらゆる影響をもたらしたが、私が特に感じるのはデジタルディバイドである。新型コロナワクチン接種の予約もインターネットで受付が行われた。公民館などでスマホ講座を開講し、その格差を解消することも生涯学習の役割だと考えられる。本日も、審議していただく案件がいくつかありますので、よろしくようお願い申し上げます。

3. 職員自己紹介

4. 議題

(事務局) これより議事の進行は会長にお願いする。

(1) 下野市生涯学習推進計画（第三次）について

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 3月に開催された生涯学習推進本部会にて、1か所訂正があったため説明させていただく。基本目標Ⅱ・施策目標1・(4) 資格取得助成制度について、案では「市民のスキルアップを支援し、協働のまちづくりへとつなげるため、資格取得に際する助成（補助金）を行います。」となっていたが、「～ 資格取得に関する情報や助成制度の周知を行います。」と変更になった。

(鈴木会長) 第三次計画に関して質問はあるか。

(委員一同) 質問なし

(2) 令和3年度生涯学習推進協議会スケジュールについて

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 昨年度は計画の策定があったため5回(書面会議を含む)会議を開催したが、今年度は3回の開催を予定している。8～9月に第2回を開催し、令和4年度に各課で行う生涯学習関連事業への提案をまとめていただく。9～10月にかけて、各課へ協議会の提案を踏まえた令和4年度実施計画(案)の作成を依頼する。1～2月には生涯学習推進本部会を開催し、各課で作成した令和4年度実施計画(案)について協議及び計画の決定をする。3月に開催予定の第3回では、完成された令和4年度実施計画について報告させていただく。また、同じく3月には生涯学習情報誌エールを発行し、全戸配布をする予定となっている。

(鈴木会長) 9～10月に各課へ実施計画の作成を依頼するのであれば、第2回の会議は8月中に開催したほうが良いのではないかと。

(事務局) 早めの開催を検討する。

(鈴木会長) スケジュールについて質問はあるか。

(委員一同) 質問なし

(3) 令和2年度生涯学習推進実績報告について

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料「令和2年度下野市生涯学習実績報告書」に基づき説明。

(鈴木会長) 令和2年度の事業について意見や質問はあるか。

(大垣委員) こども福祉課で行っているオレンジリボンキャンペーン事業は参加者数が3,000人とあるが、啓発グッズを配布した人数ということではよろしいか。

(菅井副会長) 実績の欄に「児童虐待防止月間に併せて、市内各児童館や市庁舎窓口、乳幼児健診会場などで、児童虐待防止啓発グッズを配布した。」とあるので、3,000人に啓発グッズを配布したのだと思われる。

(鈴木会長) 啓発の第一歩となるキャンペーンである。啓発グッズを配布するだけでなく、配布をとおして周知した効果が今後表れてくると良い。

(設楽委員) ふれあい学習推進事業ではふれあい学習推進委員と学校運営協議会委員を対象に講演会が行われたが、とてもためになる内容であった。委員も毎年変わるので、継続して数年おきに開催をしていただくとありがたいと思う。また、各学校で行われる家庭教育学級の課題としては、保護者の参加が少ないことである。毎年、保護者を集める方法に担当教員は悩んでいる。大変意義のある事業なので、何か良い策はないか学校でも考えているところである。図書館ボランティアによる読み聞かせは、多くの小学校で行っていただいております。図書館ボランティアによる読み聞かせは、多くの小学校で行っていただいております。しかし、なかなかボランティアが見つからない学校もあるそうだが、可能であれば全校で行いたい。

(鈴木会長) 小学校での読み聞かせは、下山委員の所属するボランティア団体で行っていると思うがいかがか。

(下山委員) 読み聞かせは、市内の複数のボランティア団体で行っている。昨年度は、国分寺中学校の生徒が小学校に行って読み聞かせを実施したが、とても好評であった。今年度も実

施に向けて取り組みを始めたところである。

(鈴木会長) 現在小中一貫の教育が進んでいることもあるので、とても良い活動だと感じられる。先ほど事務局からの説明の中で、スマホ講座を生涯学習文化課の事業として今年度開講するとのことであったが、課で行う講座と図書館講座・公民館講座に違いはあるのか。

(事務局) 大人数を集めるような講演会や、市全体に関わる講座などは課で行っている。図書館や公民館では地域の特色を取り入れた講座を開講している。

(鈴木会長) 昨年、国分寺図書館で行われた自治医大予防医学講座を受講した。大変良い講座であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため受講者数が絞られており、たった10名程度しか受講できず勿体なく感じた。今後はオンラインでの配信やラジオ放送など、会場外での受講に関しても検討していただきたい。

(谷萩委員) 石橋地区にあるグリムの館は、立派な施設やグリムに関する多くの資料があるにも関わらず、現状では石橋に住む方の利用が中心であり、南河内地区や国分寺地区の方の利用が少ない。冬のイルミネーションや各団体の作品展示などを行っているが、市の施設として、市全域の方にさらに注目されるような展開を進めていきたい。

(鈴木会長) 指定管理で運営されているような施設との連携も広げていけたら良いと考える。

(松本委員) 現在、生涯学習情報センターに登録しているボランティアなども、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の場を制約されてしまっている。従来のようなイベントが開催できない中で、先ほど会長からもあったように今後はオンライン配信やラジオなどの利用も検討していく必要がある。そういった体制を整えば、コロナ後においてもイベントなどが広く発信できるようになる。自分の知識やスキルを広く発信・披露したいというニーズは高いと思われる。

(鈴木会長) 下野市にはFMゆうがおがあるので、様々なサークルやボランティアの活動発表や子供向けの朗読番組などがあると、さらにラジオを活用できる場が広がるのではないかと。

(楡木委員) 昨年度は、男女共同などに関する講演会は中止になってしまった。別な形で周知は行ったが、周知の方法についてもSNSの活用など、時代に合わせて変えていく必要がある。

(鈴木会長) 令和2年度の事業実績については以上とする。

(4) 令和3年度生涯学習実施計画について

(鈴木会長) 事務局より説明を求める。

(事務局) 資料「令和3年度下野市生涯学習実施計画」に基づき説明。

(鈴木会長) 多文化共生に関する事業について、各事業の目的を見るとほとんどに「異文化理解」とある。今は異文化の理解をする段階ではなく、その先の共生を目指しているため、令和4年度以降は目的の見直しを各課に求めていただきたい。また、生涯学習文化課で実施予定であった自治医科大学連携公開講座は中止だが、国分寺図書館の自治医大予防医学講座は開講するのであれば、共催とすることは可能だろうか。周知や謝金などの面で共催とする方が良いのではないかと考える。

(事務局) 多文化共生に関する事業については承知した。自治医科大学との講座については図書館と相談する。

(鈴木会長) そのほか今年度の事業について意見や質問はあるか。

(大垣委員) 家庭教育事業の新規で「ママナビ 小学校ってどんなところ？」という講座が石橋公民館で実施されるとのことだが、小学校入学前に不安を持つ保護者は多いと思うので、ぜひ他の地区でも開講してほしい。

(鈴木会長) この講座は毎年必要となる講座だと考えられる。可能であれば市で実施してほしい事業である。

(菅井委員) この講座は各小学校を会場にして実施するのか。

(事務局) 石橋地区の小学校4校で実施する。内容は学校生活について、PTA活動について、学童保育についての説明のほか、ワークショップや校内見学を予定している。

(下山委員) 各学校では、就学前の1日入学の際に保護者を集めて説明会を行うと聞いたことがあるが、その説明会とこの講座はどういった違いがあるのか。

(事務局) 学校で行う説明会は、入学前に準備が必要なことや入学後の授業の進め方などについての説明が主になるかと思われる。この講座ではワークショップで「小1プロブレム」について理解を深めながら子育てについての意見を共有することで、保護者同士の交流の場となり、少しでも入学前の不安を解消することを目的としている。

(下山委員) ワークショップを行う市民活動団体とは、どのような団体か。

(事務局) 市家庭教育支援チームひばりという、県主催の研修の修了者で構成されている団体である。

(鈴木会長) 入学前に保護者同士の交流する場があり、不安を相談できる相手ができるというのはとても良いことだと思う。

(下山委員) 薬師寺で行っているエゴマ灯明の会は今年度も開催するのか。

(谷萩委員) 現在薬師寺歴史館のほうで検討しているところだと思われる。かなり定着してきたイベントであり、エゴマの栽培にはボランティアの方や小学生が関わっているので、つながりのあるとても良い事業である。

(鈴木会長) 今年度の実施計画については以上とする。次回は、本日出た意見も踏まえて生涯学習推進本部会へ提出する要望についてまとめていきたい。

5. その他

(事務局) 7月に実施した生涯学習関連事業の報告、今後開催を予定している生涯学習関連事業の紹介、グリムの森内お菓子の家運営事業者の決定について及び石橋複合施設整備事業についての説明。

6. 閉会